~地域やお取引先とともに、地域環境や自然を守り育む活動に取り組んでいます

地域の環境保全

省エネ・省資源・リサイクル活動

省資源・省エネルギー・リサイクル活動の推進により、事業活動における環境負荷の低減に努めています。

省エネ意識の向上

年2回、省エネ節電対策等を要請することにより、行内の 省エネに対する意識を高めています。

省エネ・環境配慮型製品の導入

省エネ型エアコン、LED照明、太陽光発電システム、電気 自動車などの省エネ・環境配慮型製品を順次導入してい ます。

ペーパーレス化・リサイクル

行内文書の電子化やコピー・印刷の削減等によりペー パーレス化を進めています。また、廃棄文書のトイレット ペーパーへのリサイクル、ゴミの固形燃料原料へのリサ イクル等を実施しています。

エネルギー使用量・CO2排出量の推移



※経済産業省報告ベース

地域社会と連携した環境保全活動

ボランティア活動に参加するなど、地域社会と連携して積 極的に環境保全活動に取り組んでいます。

エコキャップ収集運動

「小さな親切」運動(P46参照)の一環として、会員の方々の ご協力により収集した使用済ペットボトルのキャップをリ サイクル業者に売却し、その売却益で世界の子どもたちに ワクチンを届けています。

2010年の運動開始から2019年3月までに収集した重量 は11,453kg、ワクチン約5,700本分に相当し、環境保全 だけでなく発展途上国の子どもたちの命を救うことにも 貢献しています。

「小さな親切」運動 リサイクル業者からの 売却代金を寄付する 企業·個人·教育機関·会員等 認定NPO法人 からエコキャップを随時回収 ユニセフを通してワクチンを 発展途上国の子どもたちに届ける **114,530**円

ヨシ刈り取りボランティア

宍道湖水環境改善協議会が宍道湖の水質浄化を目的に 取り組んでおられる活動に賛同し、2013年の開始当初か らボランティアに参加しています。

宍道湖に生えるヨシを刈り取ることで、ヘドロ化して湖底 に堆積することや、ヨシが吸収した窒素やリンが再び湖に 流出することを防いでいます。



森林保全活動

私たちは、「ふるさとの自然を守る」「1人ひとりが、できることをできる範囲で継続する」という理念のもと、これからも地域の皆様と一緒になって、森林を守り育み、次代につなげていく活動を継続していきます。

ごうぎん希望の森

鳥取・島根両県の森づくり支援制度を活用し、両県内の6カ所の森林で年2回実践的な保全活動を実施しています。2006年の取組開始以降、延8,500人を超える役職員やその家族が活動に参加し約17,000本の植樹を行っています。







ごうぎん希望の森 分布MAP



森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議

山陰両県内で活動するボランティア団体やNPO法人等、52団体(2019年3月末現在)を会員とするネットワーク組織です。当行がその事務局を担い、情報交換や実践活動等の交流を通じて、山陰両県内に活動の輪を広げる取り組みを行っています。

2018年には「フレンドシップ店」制度(当行の営業店の行員が会員の活動等に参加し親交を深める取り組み)を開始し、各会員の活動の活性化を図っています。

無様を守るらい原命で10mmを持ち



日本の森を守る地方銀行有志の会

森林・環境保全活動の輪を全国に広げるため、全国の地方銀行64行が加盟し、各行が取り組んでいる活動のノウハウや情報を共有しています。当行は2008年の発足以来事務局を務めており、2018年度からは取り組むテーマもSDGsやESGといった社会的要請が高まっているものに進化しています。





環境保全活動

~地域やお取引先とともに、地域環境や自然を守り育む活動に取り組んでいます

環境関連ビジネス

J-クレジットの活用支援

SDGsの目標達成へも寄与するJ-クレジットを活用したカーボン・オフセットの支援に長年取り組んでいます。 「気候変動対策」や「豊かな森の保全」だけでなく、お取引先の企業価値向上を通じた持続可能な事業への支援を目指して います。

J-クレジットの普及・仲介への支援

J-クレジット*制度の普及とカーボン・オフセットの推進のため、鳥取県独自の「J-クレジット地域コーディネーター制度」創設を 支援しました。兵庫県養父市へも同制度を導入いただき、当行の広域店舗ネットワークを活用した販売支援を行っています。 2014年度と比較すると、J-クレジットの販売支援は件数で約3.4倍、仲介数量で約3.2倍となりました。多くのお取引先に 「ふるさとの森林整備」に対する貢献の輪が広がるとともに、鳥取県発のコーディネーター制度の実効性が年々高まって

※温室効果ガスの排出削減量および森林整備等によって増加した温室効果ガスの吸収量をクレジットとして認証する制度

■島根県への取組拡大

鳥取県・兵庫県に比べて支援実績が少なかった島根県において、2018年度には民間事業者同士でのJ-クレジット売買の取 り組みがみられ、「公一民」連携から「民一民」連携へと新たな動きが生まれています。



仲介者である当行の石丸頭取(左)同席のもと、購入者:中央建設㈱の足立 社長(中央)と販売者:須山木材㈱の須山社長(右)が売買契約を締結。

J-クレジット販売支援実績(累計)



取組

SDGs日南町環境フォーラムへの協力

鳥取県日南町は、森林環境保全の一層の推進とSDGsへ の貢献に向けて、町民・企業・自治体等が連携を強化して 取り組むことを目的に「SDGs日南町環境フォーラム」を開 催されました。 当行もSDGs/ESGに取り組む地元企業 の一員として参加し、当行のこれまでの「J-クレジット」の 販売支援の取り組みやSDGsとの関連性などについて講 演を行いました。

フォーラムの最後には、「持続可能なまちづくりのための 日南町SDGs宣言」が行われ、日南町がSDGsの概念を取 り入れたまちづくりに取り組むことが誓われました。

また、日南町は2019年度の[SDGs未来都市]へ見事選 定され、第一次産業の発展を通じた持続可能なまちづく りをさらに推進していかれます。



「持続可能なまちづくりのための日南町SDGs宣言」

再生可能エネルギー分野での取り組み

環境への負担が少なく、枯渇の心配がない自然の力から創る再生可能エネルギー事業参入へのサポートを本部と営業店 が協力し取り組んでいます。

大規模な再生可能エネルギー案件への対応

大規模な再生可能エネルギー案件に対して、プロジェクトファイナンス形式でのシンジケートローンの組成を行っています (太陽光発電、風力発電、木質バイオマス発電において実績あり)。

取組

営農型太陽光発電設備への対応

お取引先の営農型太陽光発電事業参入に対しサポートを行いました。

営農型太陽光発電とは、農業を行いながら農地の上部空間で太陽光発電を行う方式をいいます。農地活用ができます が、農業と効率的発電のバランス、農地転用期間の制限等の課題の解決が必要となります。事業計画に対するアドバイス や評価を通じお客様の事業実現をお手伝いしました。

(株)キッカワグループ(倉敷支店)





- ・営農型太陽光発電の取り組みにより将来的な安定収入を確保。
- ・営農型太陽光発電事業のノウハウ蓄積。
- ・農業参入への足がかりの獲得。

環境配慮型商品の提供と金利優遇の実施

環境配慮型商品の提供等を通じ、お客様の環境に配慮した取り組みを支援しています。

エコ型銀行保証付私募債

環境に配慮した取り組み (ISO14000取得等) を行っている企業を対象とし、本私募債の発行による資金調達 に加え、企業イメージの向上を支援しています。

リフォームローン

太陽光発電・ソーラーシステム・蓄電池購入費用、および設置工事等に伴う費用に利用でき、金利優遇を行ってい ます。

住宅ローン金利優遇

省エネ住宅や環境に配慮した住宅、島根・鳥取県産木材を利用した住宅の購入および新築の場合に金利優遇を 行っています。